

CMSI Seminar オーガナイザー  
長棟輝行（工学系研究科 バイオエンジニアリング専攻）

去る 2011 年 8 月 22 日（月）、工学部 5 号館 5 4 号講義室にて CMSI-GCOE セミナーが学内・外の参加者を多数集めて開催されました。本セミナーは 2008 年 7 月より実施されているグローバル COE プログラム「学融合に基づく医療システムイノベーション（CMSI）」（拠点リーダー：片岡一則教授）の一環として企画、開催されています。

今回のセミナーはソウル大学より Byung-Gee Kim 教授をお招きし、"Actinobacteria, A Treasure Box of P450s: How We Can Use Them in Biocatalysis?"という演題で講演していただきました。放線菌は抗生物質や抗がん剤などの有用物質を生産することが知られています。放線菌はモノオキシゲナーゼであるシトクロム P450 を複数有しており、これらはフラボノイド生産に関わっています。チロシナーゼ欠損株の構築や自己充足型 P450 の利用、P450 への変異導入によりフラボノイド生産の向上に成功した例をご紹介します。本セミナーには教員、学生が多数参加し、セミナー後の議論も活発に行なわれ充実したものとなりました。

